

中小企業の 生存戦略

～技術だけでは勝てない時代の
「自社らしい価値」の作り方～

2026
11.5 THU 13:00-16:00
(開場 12:40)

グランフロント大阪 北館タワー C8階

ナレッジキャピタル・カンファレンスルーム「Room C05」

〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町3-1

グランフロント大阪 北館 までの所要時間

JR「大阪駅」(アトリウム広場)、地下鉄御堂筋線「梅田駅」、阪急電鉄「大阪梅田駅」より徒歩約3分

会場

定員50名

オンライン

申込後にMicrosoft Teams URLをご案内いたします
定員なし

※ハイブリッド形式で実施いたしますので、お申込み時に選択ください。

GUEST -ゲスト登壇者-



「ネジザウルス」開発企業
株式会社エンジニア
代表取締役
高崎 充弘 氏

「ネジザウルス」をはじめとする製品開発を通じて、知財・ブランド・マーケティングを経営へ接続。

実際の取り組みをもとに、自社らしい強みを価値創造や事業成長につなげるヒントをお話いただきます。

お申込み

ご記入いただいた個人情報は、主催者及び共催者で適切に管理し、本セミナーに関する運営及び主催者等が実施する事業についてのみ活用します。
なお、関連情報等をご案内させていただく場合がありますのでご承知おきください。



お申込み
締切

2026年
11月4日(水) 12:00

「技術だけ」では、選ばれ続けられない。

特許や商標だけでなく、

企業文化、顧客との関係性、経営者の想い、組織に蓄積された知識や経験も、競争力の源泉になり得ます。

技術やノウハウの汎用化が進む今、企業が選ばれ続けるためには、自社ならではの「知的資産」を発見し、経営やブランド、新たな価値創造へつなげていくことが重要です。

本セミナーでは、知財を単なる権利取得の手段ではなく、企業価値を高める経営資源として捉え直します。

第1部 視座を開く

01

混迷の時代に唯一無二の存在として輝くための 「自社らしさ」を活かした知財戦略

価値観の多様化や技術のコモディティ化で「技術×市場性」の戦略が通用しにくくなった今、唯一無二を揺るがないものにする鍵となるのが、「自社らしさ」の根幹にある暗黙知などの知的資産です。知的財産を見る視点を変えて、知的資産から掘り起こす知財戦略のあり方を考えます。

登壇：土生 哲也 氏

第2部 実践から学ぶ

02

前半

分析的アプローチとデザインのアプローチ

企業が持つ知的資産をどのように発掘し、新たな価値創造につなげていくのか。経営デザインシートなどのフレームワークを活用しながら、知財を創り出すための考え方や実践のポイントを紹介します。

登壇：近藤 泰祐 氏

後半

企業の実践事例から学ぶ -株式会社エンジニア-

「ネジザウルス」をはじめとする製品開発を通じて、知財・ブランド・マーケティングを経営に結びつけてきた株式会社エンジニア。その実践の背景にある考え方や、MPDP理論などを交えながら、知財を企業の価値創造や事業成長にどのようにつなげてきたのかをお話しいたします。中小企業が自社らしい強みを見つけ、選ばれ続ける企業へと成長していくためのヒントを、具体的な実践事例から考えます。

登壇：高崎 充弘 氏

第3部 対話で深める

03

パネルディスカッション

知財を経営にどう活かすのか。中小企業と支援機関をどのようにつなげていくのか。登壇者3名による対談を通じて、知財活用 of これからについて多角的に掘り下げます。また、事前に寄せられた参加者からの質問にもお答えします。

登壇：土生 哲也 氏、近藤 泰祐 氏、高崎 充弘 氏
モデレーター：澤田 哲也 (ミテモ株式会社)

第4部 次の一歩へ つなぐ

04

知財経営支援ネットワークや各種支援施策の紹介

知財経営支援ネットワークや各種支援施策をご紹介します。
会場参加者には、支援機関との交流や、登壇者への個別相談の機会もご用意しています。
学びを行動につなげるための第一歩として、ぜひご活用ください。

登壇者



高崎 充弘 氏
株式会社エンジニア
代表取締役



土生 哲也 氏
株式会社IPディレクション
代表取締役／
土生特許事務所 弁理士



近藤 泰祐 氏
一般財団法人知的財産研究教育財団
知的財産教育協会
事業部長